

路面切削機

登録番号:特許 第4510711号

出願番号:特願2005-198284号 出願日:2005年7月7日 公開番号:特開2007-016459号 公開日:2007年1月25日

発明/考案の名称:路面切削機

特許権者:独立行政法人北海道開発土木研究所、株式会社NIPPO

キーワード 交通安全、切削溝、路肩、ランブルストリップス**目的**

交通安全対策として路面に所定間隔の切削溝を効率よく品質の高い施工を行うことが可能な路面切削機で、走行車両の車体側面に横方向に長尺状の牽引部の基端部が回転自在でかつ車体に対して上下動可能な牽引部の先端部に切削装置、反力調整装置および異径車輪が取り付けられ、肩部が狭く平坦性など品質に乏しい箇所の切削溝の施工にも切削機本体を路肩内にいれることなく施工できる。

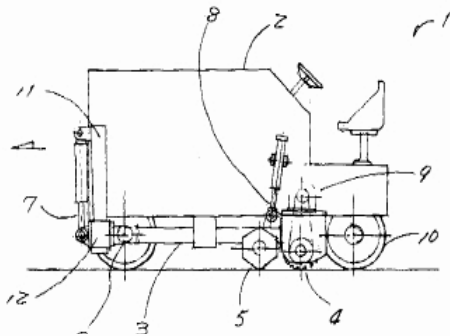
効果

本技術の路面切削機によれば、本体の側部に切削装置があるため、車道に比べ脆弱な路肩上に本体を走行させずに施工できるので路肩を損傷する心配がない。また本体が車道部を走行し、切削装置が勾配のある路肩上部にあり本体の走行位置がずれても切削装置の勾配は変化せず左右均一な切削深さが確保できる。さらに、牽引する基端部が回転自在となっているため、進行方向に対して横断方向の指示がフリーとなっており、変化する勾配に追従できる。

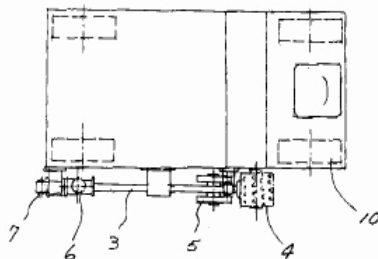
技術概要

本技術の路面切削機は、走行車両の車体側面に長尺状の牽引部が設けられていると共に、牽引部の基端部が回転自在でかつ車体に対して上下動可能に取り付けられており、牽引部の先端部に切削装置、反力調整装置および異径車輪が取り付けられていることを特徴とする。

【図1】

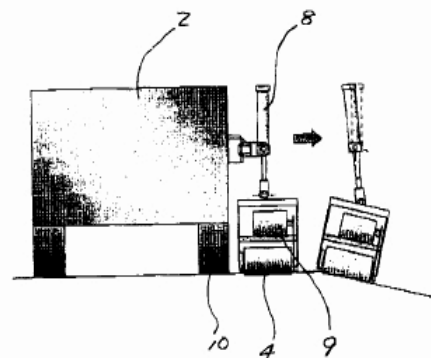


【図2】



装置側面図、平面図

【図3】



動作概念図